

和歌山県海岸漂着物対策推進地域計画 について

和歌山県 循環型社会推進課

和歌山県海岸漂着物対策推進地域計画

- 海岸漂着物処理推進法第14条に基づく地域計画
- 基本方針及び取組
 - ① 回収・処理
 - ・ 多様な主体の連携・協働による、重点区域での回収処理
 - ② 発生抑制
 - ・ 条例に基づく不法投棄防止の取組
 - ・ 民間団体等との連携
 - ・ 組成調査の実施
 - ③ 普及啓発・環境教育の推進

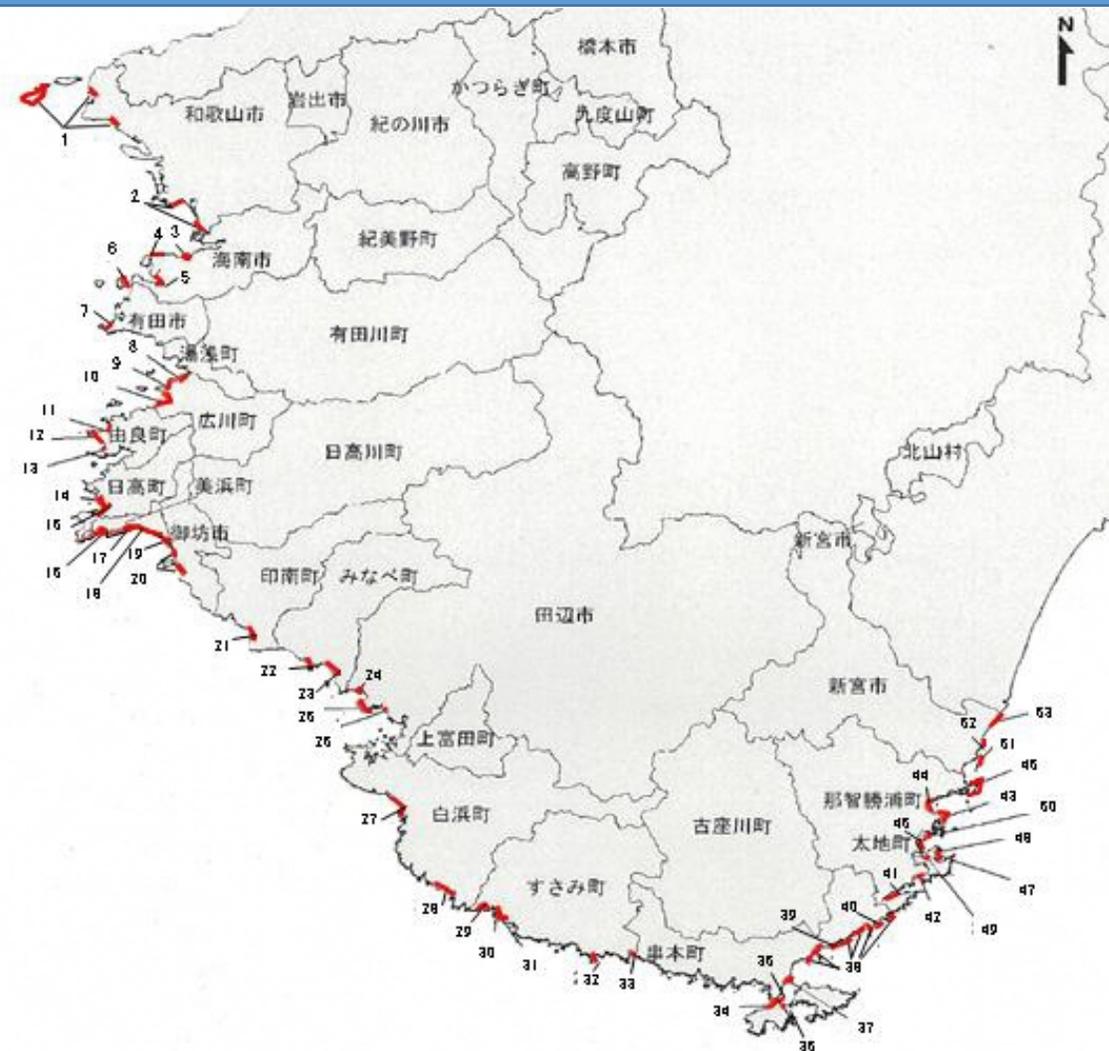
①回収・処理

- ・ 多様な主体の連携・協働による、重点区域での回収処理

①回収・処理 重点区域での回収処理

- 回収・処理
重点区域海岸

県内 53 海岸を指定



①回収・処理 重点区域での回収処理

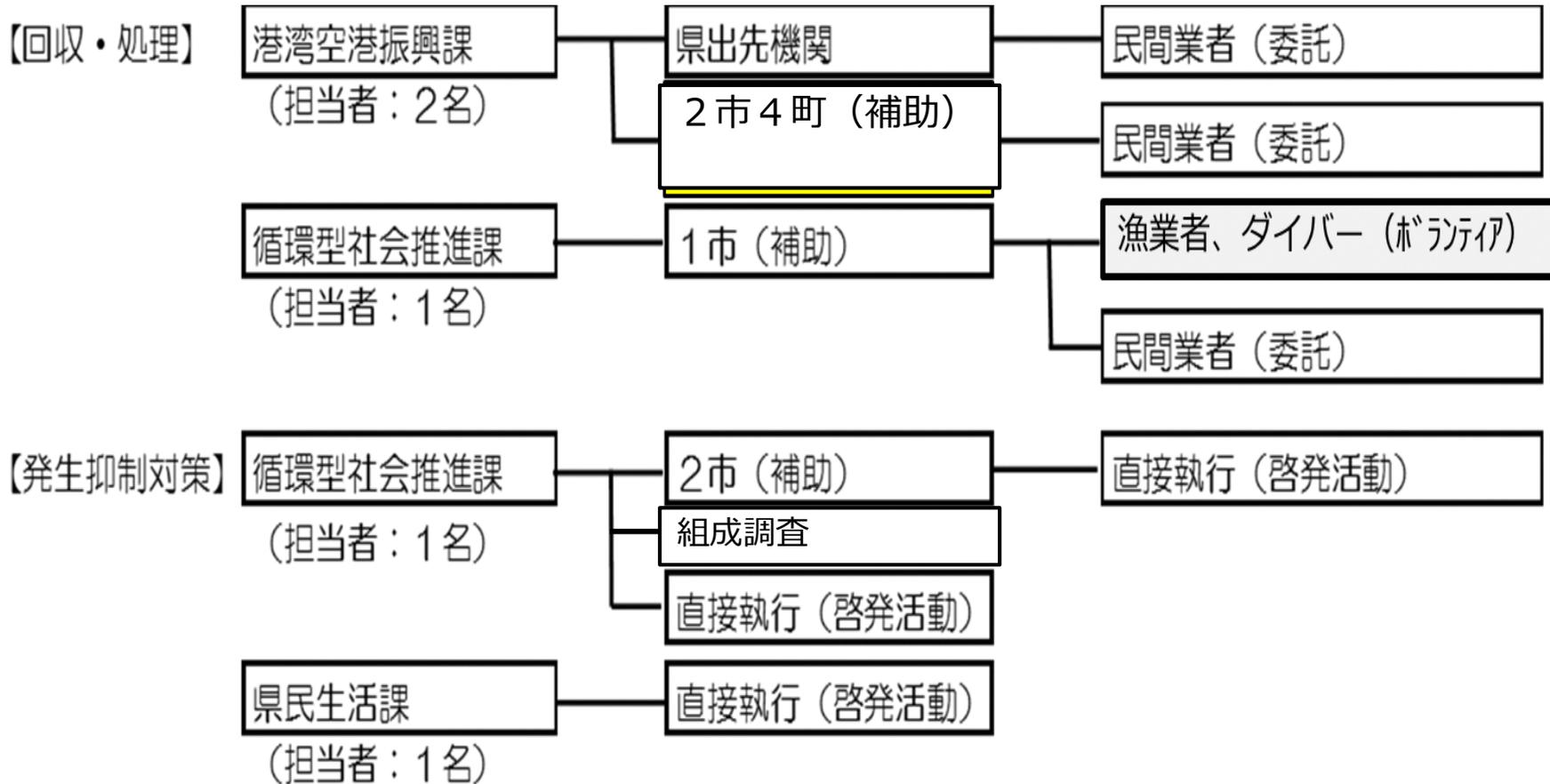
●回収・処理に係る重点区域の設定基準

評価項目1 社会的特性	海岸利用等の状況を勘案し、海水浴場に指定されている海岸
評価項目2 自然的特性	良好な景観が観光資源となっている海岸
評価項目3 自然的特性	ウミガメの産卵場所や、優れた自然環境の保全が特に必要と認められる海岸
評価項目4 海岸漂着物等の量	海岸漂着物等が大量に漂着し、地域住民等から頻繁に苦情が発生している海岸
評価項目5 沿岸市町の希望	上記評価項目以外で、海岸漂着物等の量、自然的特性、社会的特性等から特に市町が必要と認める海岸

▶ 県内53海岸が回収・処理の重点区域。 **なお、発生抑制対策は県内全域が重点区域**

①回収・処理 多様な主体の連携・協働

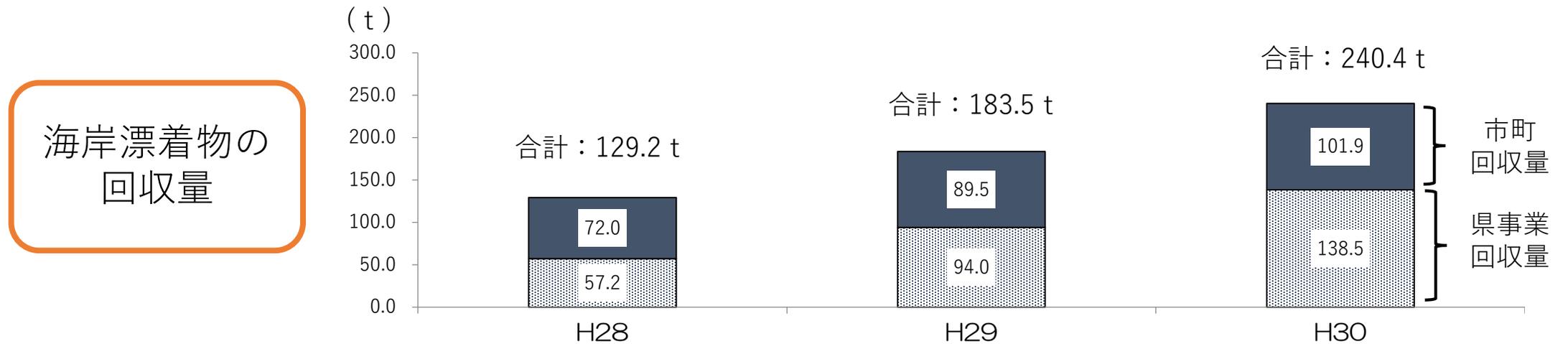
●R3 海岸漂着物等地域対策推進事業実施体制



①回収・処理 重点区域での回収処理

●事業実施方法

- ・環境省地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等地域対策推進事業)を活用
- ・前述の重点区域海岸にて、海岸管理者が事業を実施
※県管理海岸は県、市町管理海岸は県からの間接補助により市町が実施



	H28		H29		H30	
総事業費	7,978千円		14,466千円		29,170千円	
実施箇所数	県管理海岸	市町	県管理海岸	市町	県管理海岸	市町
	4海岸	4市町	11海岸	3市町	12海岸	4市町

②発生抑制

- ・ 条例に基づく不法投棄防止の取組
- ・ 民間団体等との連携
- ・ 組成調査の実施

②発生抑制 条例に基づく不法投棄防止の取組

●和歌山県ごみの散乱防止に関する条例（R2.4.1施行）

・目的

- ①ごみの散乱を防止し、県全体の環境を保全する
- ②将来にわたって県民にとって健康で文化的な生活環境をつくる

- ◇何人も、みだりにごみを捨ててはならない（第6条）
- ◇ごみをみだりに捨てると回収を命じ（第9条）、
命令に従わない場合は5万円以下の過料に処する（第10条）

実効性を伴った
条例

②発生抑制 条例に基づく不法投棄防止の取組

●環境監視員

屋外でごみがみだりに捨てられないよう監視するため、
警察OBの環境監視員を県内各地に9名配置



不法投棄の監視のため、管内をくまなく
パトロールする職員



ごみの散乱を
「しない」「させない」「許さない」
「和歌山県ごみの
散乱防止に関する条例」



私たち1人1人が県土全体の取壊的な環境の保全を期し、廃棄物の適正な処分・再利用
による環境美化を進めることで、県民にわたる健康で文化的な生活の構築につなげてます。
「本気でわかやまの“ごみゼロ”目指しませんか？」

ごみをみだりに捨てると回収を命じられ、命令に従わない場合は5万円以下の過料に処せられます。

②発生抑制 民間団体等との連携

- わかやまごみゼロ活動応援制度
県民や事業者による自主的な清掃活動等を「わかやまごみゼロ活動」として認定し、県HPでの情報発信、清掃用具の貸与、環境啓発グッズの提供などの支援を実施
 - ・R3.11.1現在、24団体47活動を認定

《啓発物品（クリアファイル）》



②発生抑制 民間団体等との連携

● スポGOMI大会

- ・環境省地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等地域対策推進事業)を活用
- ・回収したごみの量・種類によって獲得ポイントを競い合い、大人から子供まで幅広い年代が楽しみながらごみ拾い

ゴミ拾いはスポーツだ

山吉し 海吉し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

紀の国わかやま文化祭2021は、文化芸術活動の発表・鑑賞・交流などを行う国内最大の文化の祭典です。また、令和3年11月22日に和歌山県は誕生150年を迎えます。イベント盛りだくさんの令和3年を、ゴミ一つないきれいな和歌山にしましょう!!

和歌山県誕生150年記念事業
紀の国わかやま文化祭2021応援事業

令和3年度クリーンアップ運動 in 和歌山
スポGOMI大会

参加チーム募集

制限時間内に、定められたエリア内で拾ったゴミの量と質でポイントを獲得し合う。子供から大人まで年齢を問わずにできる「スポGOMI」。楽しくゴミを拾い、一緒に街をきれいにしませんか？

募集チーム数 1チーム5名以内(3名以上)で、20組100名程度を募集します。
・応募多数の場合は、先着順とさせていただきます。
・同一団体からの申し込みは20名以内とさせていただきます。
・小学生以下の参加については、保護者(1名以上)との混合メンバーでご参加ください。

申込み方法 申込み用紙に記入し、日高川町大会は令和3年10月7日(木)まで、和歌山市大会は令和3年10月14日(木)までに下記お問い合わせ先まで、FAX、メール、郵送(必着)ください。

その他

- ・参加された皆様に参加賞があります。
- ・上位入賞チームには賞品(記念品)があります。
- ・ゴミ拾いの用具(ゴミ袋、軍手、トンク)は用意いたします。
- ・参加費は無料です。ただし、参加に伴う交通費などは、各自負担してください。
- ・主催者が参加者全員のコラムニア保険に加入します。
- ・雨天等で中止の場合は、当日7時ごろまでにチーム代表者へ連絡をします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止する場合があります。

申込みは右記で入手できます。

- ・和歌山県 県民生活課県民活動団体室
- ・各編組局長御座います
- ・県民生活課ホームページ
- ・<https://www.pref.wakayama.lg.jp/pref/031300/cleanup.html>

日高川町
日時 令和3年10月16日(土)
9時00分から11時30分
場所 日高川交流センター周辺
主催 和歌山県 / 共催 日高川町
協力 (一社) ソーシャルスポーツイニシアティブ

和歌山市
日時 令和3年10月23日(土)
8時30分から11時00分
場所 県民交流プラザ 和歌山ビッグ夏周辺
主催 和歌山県 / 共催 公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団
協力 (一社) ソーシャルスポーツイニシアティブ

専用SNS-Webサイト「クリーンアップわかやま」を開設しました。
「クリーンアップわかやま」では、県民のみならず、訪れる方にも楽しい活動の紹介や、さらなる運動の推進で「ゴミ一つないきれいなわかやま」を目指しています。みなさんもアプリをダウンロードして、ゴミ拾い活動にご参加ください。

・ゴミ拾いアプリ「ピカ」
のQRコードから
ダウンロードできます。

・クリーンアップわかやま

お問い合わせ 和歌山県 県民生活課県民活動団体室(和歌山市小松原通一丁目1番地)
TEL:073-441-2053 FAX:073-433-1771
e-mail:e0313001@pref.wakayama.lg.jp

②発生抑制 民間団体等との連携

● スポGOMI大会の開催実績（R1）

実施日	実施場所	回収した ごみの量	参加チーム数 (参加人数)
8/24(土)	上富田役場周辺	90.04kg	26チーム(109名)
9/22(日)	紀三井寺公園及び緑道周辺	58.79kg	26チーム(112名)
9/28(土)	南山スポーツ公園周辺	132.80kg	29チーム(126名)
10/5(土)	橋本カントリークラブ 周辺	155.07kg	34チーム(148名)
10/6(日)	海南保健福祉センター周辺	101.61kg	27チーム(100名)
12/21(土)	那智勝浦町体育文化会館周辺	60.17kg	19チーム(72名)

②発生抑制 組成調査の実施

●組成調査の実施

- ・事業目的

中長期的に継続した調査を実施し、漂着ごみの組成や存在量及びそれらの経年による変化を把握する

- ・事業概要

調査時期 : 漂着ごみの多い時期に1回/年実施

調査地点数 : 2地点

調査範囲 : 水際方向の幅50m

調査対象 : 2.5cm以上のごみ全て対象

分類 : 分類表を使用

- ・環境省地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等地域対策推進事業)を活用

②発生抑制 組成調査の実施

● 調査方法
項目リストごとに数量等を記録



調査モニタリング
シート

分類表(必須項目)

大分類	必須項目	個数	容量(L)※	重量(kg)※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L			
		その他のプラボトル<1L			
		飲料用(ペットボトル)≥1L			
		その他のプラボトル類≥1L			
	ストロー				
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)				
	ポリ袋(不透明、透明)				
	ライター				
	シリンジ、注射器				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片				
	ウレタン				
	フイ(漁具)				
	ロープ・ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10~20cm)(漁具)				
漁網(漁具)					
その他の漁具(漁具)					
その他					
発砲スチロール	コップ、食品包装				
	発砲スチロール製フロート、フイ				
	発砲スチロールの破片				
	発砲スチロール製包装材				
その他					
ゴム	ゴム				
ガラス、陶器	ガラス、陶器				
金属	金属				
紙、ダンボール	紙、ダンボール				
天然繊維、革	天然繊維、革				
木(木材等)	木(木材等)				
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器				
自然物	自然物			16	

※少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

②発生抑制 組成調査の実施

●調査結果

- ・ 8割が流木等の自然物
- ・ 50mの調査範囲で100kgを超える人工物
- ・ 人工物のうち6割以上がプラスチック

漂着物の重量 (kg) と割合

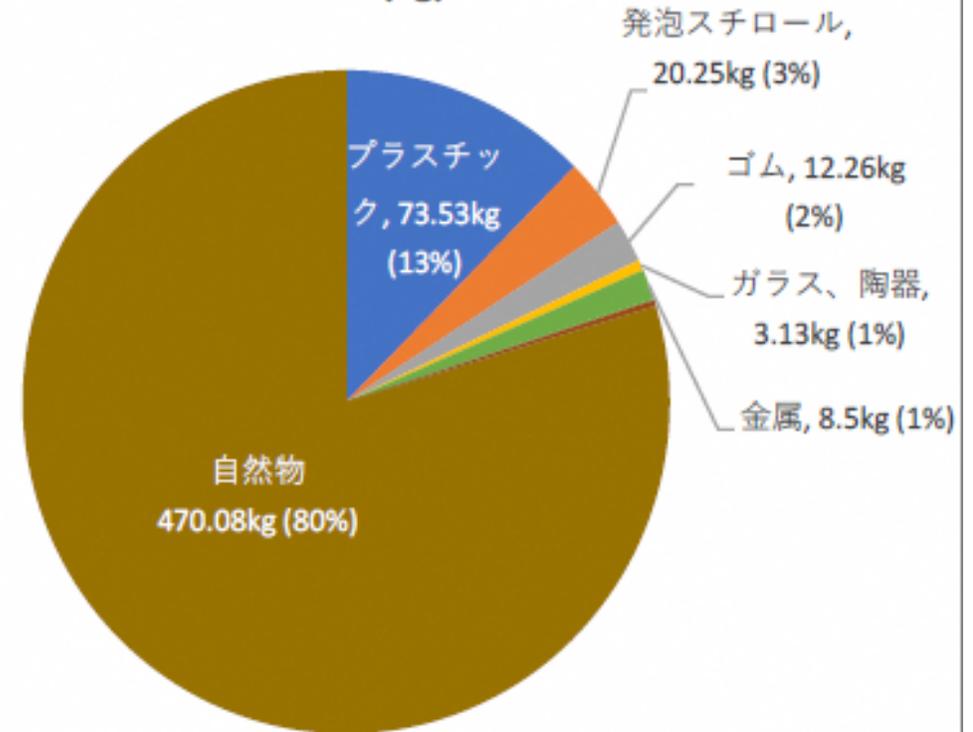


図 11 池尻浜海岸における漂着物の重量と割合 (大分類別)

③普及啓発・環境教育の推進

③普及啓発・環境教育の推進

●普及啓発

- ・第15回3R推進全国大会（オンライン開催）
テーマ：プラスチック資源循環促進法、
海洋プラスチックごみ対策
- ・各種メディアでの啓発

●環境教育

- ・「出張！県政おはなし講座」
県民からの希望に応じ、職員が直接出向いて説明・意見交換
対象：地域の自治会等、学校
テーマ：海洋ごみ、ごみ散乱防止、3R等

今後の方針

●さらなる協働

- ・これまでの取組に加えて、他府県や陸域の地域との協働も視野に入れながら組成調査等に取り組む

●プラスチックごみ対策の推進

- ・回収された海岸漂着物等のうち、人工物について、プラスチックが占める割合が大きいことから、プラスチックごみ対策としても取り組む